

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	移植対策(造血幹細胞)事業			担当部局庁	健康局			作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課移植医療対策推進室			室長 阿萬 哲也	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律			関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・造血幹細胞提供推進事業の実施について				
主要政策・施策				主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	白血病等の治療に有効な造血幹細胞移植を推進するため。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	別紙のとおり								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	1,784	1,808	1,861	1,805			
		補正予算	-	-	384	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	1,784	1,808	2,245	1,805	0		
	執行額	1,784	1,808	2,245					
執行率(%)	100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	骨髄等移植ドナー登録者の増加	骨髄等移植ドナー登録者数	成果実績	人	429,687	444,413	450,597		
			目標値	人	407,871	429,687	444,413	450,597	
			達成度	%	105.3%	103.4%	101.4%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	非血縁者間骨髄等移植実施数の増加	非血縁者間骨髄等移植実施数	成果実績	件	1,338	1,343	1,331		
			目標値	件	1,272	1,338	1,343	1,331	
			達成度	%	105.2%	100.4%	99.1%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	非血縁者間臍帯血移植実施数の増加	非血縁者間臍帯血移植実施数	成果実績	件	1,199	1,134	1,161		
			目標値	件	1,107	1,119	1,134	1,161	
			達成度	%	108.3%	94.6%	102.4%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	ドナー登録会開催数	活動実績	回	3,744	4,455	集計中			
		当初見込み		4,312	3,744	4,455	(前年度以上)		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	骨髄等ドナー新規登録者数	活動実績	人	38,060	32,753	26,380			
		当初見込み		41,920	38,060	32,753	26,380		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	臍帯血新規公開件数	活動実績	件	2,841	2,587	2,182			
		当初見込み		3,068	2,841	2,587	2,182		

単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:補助金(骨髄等ドナー登録関係経費) / Y:骨髄等ドナー新規登録者	単位当たりコスト		円	18,076	21,005	26,179
		計算式	円/人	687,990,000 / 38,060	687,990,000 / 32,753	690,592,000 / 26,380	686,126,000 / 37,850
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:補助金(非血縁者間骨髄等移植あっせん関係経費) / Y:骨髄等移植件数	単位当たりコスト		円	322,115	330,112	336,660
		計算式	円/件	430,990,000 / 1,338	443,340,000 / 1,343	448,094,000 / 1,331	438,852,000 / 1,331
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	①骨髄移植対策事業	446					
	②造血幹細胞提供推進事業	1,359					
計	1,805	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	白血病等の血液疾患の患者にとって、造血幹細胞移植は非常に有効な治療法であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ドナーと患者を結びつけるあっせん事業者及び臍帯血供給事業者が必要であり、当該事業者は、公平・中立であることに加え、営利を目的とする団体であってはならないため、こういった特性をもつ事業者に補助する当該事業は国が実施すべきである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成26年度末で45万人を超えており、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	骨髄移植等に必要HLA(白血球の型)データを確実に管理するため、ドナーのHLA情報の管理システムの保守業務等については、当該システム構築業者との間で契約を締結している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	造血幹細胞提供についてはドナーの善意が、移植については安全・公平に移植が行われるようあっせん体制の確保がそれぞれ必要であることから、ドナー情報の確実な管理、普及啓発等を行っており、負担関係は妥当と考える。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	ドナー登録について、献血併行型での登録会を多く開催するなど、効率的な登録が行えるよう努力している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業の効率的かつ効果的な実施を図るために必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	造血幹細胞移植については、ドナーのHLA情報の登録・管理、骨髄・末梢血幹細胞移植のあっせん業務、臍帯血の採取、調整保存に係る経費など必要な事業を補助対象としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	適宜実績報告を見直し、効率化できる部分は実施方法等を見直している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成26年度末で45万人を超えており、移植数も着実に増加している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成26年度末で45万人を超えており、移植数も着実に増加している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	骨髄ドナー登録者及び公開臍帯血の情報は、補助対象としている造血幹細胞適合サービスに登録・管理され、この情報を元に非血縁者間の造血幹細胞移植が行われている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	造血幹細胞移植医療体制整備事業は白血病等に対する有効な治療法である造血幹細胞移植を受けようとする患者が、どの病院においても疾病の種類や治療ステージに応じて適切な移植術を選択し実施できるようにするため、全ての移植術を実施している拠点的な病院を指定し、造血幹細胞移植の医師等を育成する等、地域における造血幹細胞移植医療の体制整備を図る事業であり、当事業とは、適切な役割分担を行っている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省健康局		造血幹細胞移植医療体制整備事業		
点検・改善結果	点検結果	造血幹細胞移植における事業については、職員及び多数のボランティアなど、全国に蓄積されたノウハウを活用して、公平かつ迅速な事業の推進及び多くのドナー登録者の確保、臍帯血の調整・保存等、効果的かつ効率的に事業を実施している。 また、移植の公平性の確保という観点から非血縁者間の骨髄移植・末梢血幹細胞移植のあっせん業務については(公財)日本骨髄バンクが、臍帯血移植に必要な臍帯血の調製保存管理及び供給業務については全国6の公的バンクがそれぞれ事業を行っている。 平成26年度は、ドナー登録会の実施や普及啓発活動により、着実に骨髄等移植ドナー登録者数が増加している。今後は、より効率的、効果的に造血幹細胞移植対策事業の推進を図る必要がある。			
	改善の方向性	より、公平かつ迅速に骨髄等のあっせん及び臍帯血の供給を進めるために、 ・ドナーの継続的な確保 ・コーディネート期間の短縮 ・造血幹細胞提供に関する情報の一元化等を行っていく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	173	平成23年度	150	平成24年度	122
平成25年度	147	平成26年度	158		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

① 骨髄移植対策事業

厚生労働省
460百万円
骨髄等移植の推進を図るため、骨髄等の唯一のあっせん機関である(公財)日本骨髄バンクに対し、
あっせん業務の実施に必要な経費を補助

【補助】

A.(公財)日本骨髄バンク
460百万円
あっせん業務を行うコーディネーターの確保、骨髄等提供までの連絡調整、ドナーを確保するための普及啓発、
低所得患者への財政支援を実施

② 造血幹細胞提供推進事業

厚生労働省
1,785百万円
骨髄等ドナー登録の拡大を図るため、ドナーのHLAの検査・登録・管理に必要な経費を補助
さい帯血バンク事業の充実を図るため、HLA型の検査・登録等に必要な経費を補助

【補助】

B. 日本赤十字社
1,785百万円
骨髄等移植に必要なドナーのHLAを検査し、データベースに登録・管理
さい帯血のHLA型のデータベース管理、さい帯血の採取・検査・保存方法の標準化、さい帯血の品質・安全性評
価等を実施

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)日本骨髄バンク			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	内訳確認中	460			
計		460	計		0
B.日本赤十字社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	内訳確認中	1,785			
計		1,785	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本骨髄バンク	あっせん業務を行うコーディネーターの確保、骨髄等提供までの連絡調整、ドナーを確保するための普及啓発、低所得患者への財政支援を実施	460-		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	骨髄等移植に必要なドナーのHLAを検査し、データベースの登録・管理及びさい帯血のHLA型のデータベース管理、さい帯血の採取・検査・保存方法の標準化、さい帯血の品質・安全性評価等を実施	1,785-		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					